

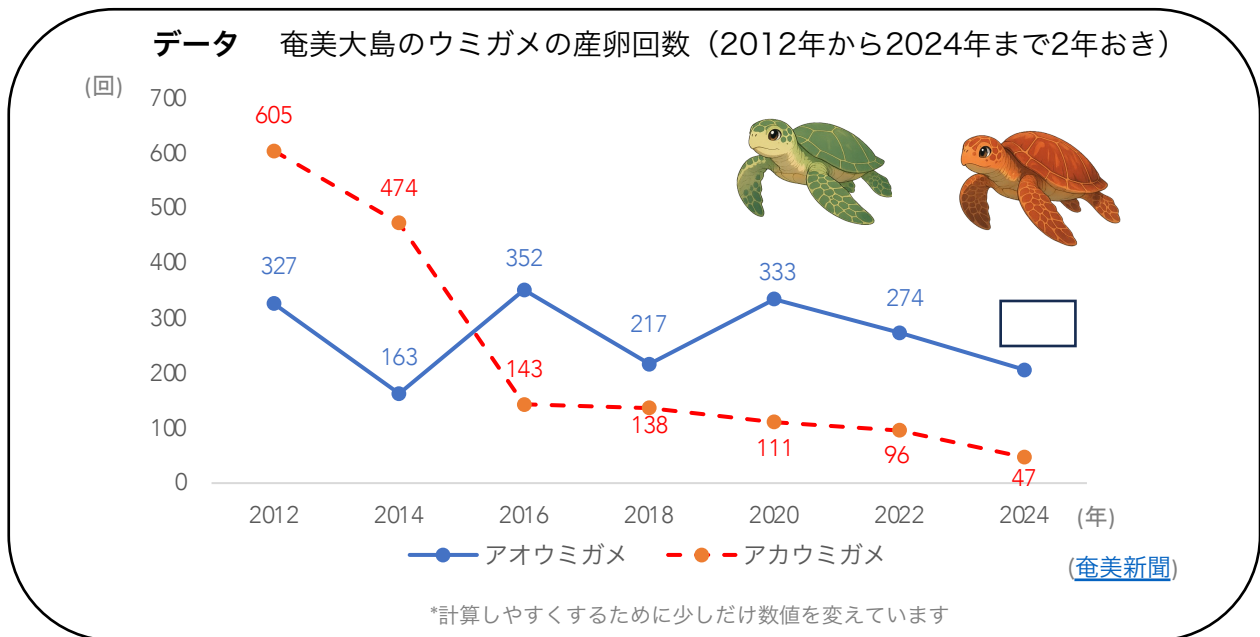
14. わたしたちの生活と自然

A

ウミガメの産卵は増えているの？



たかこさんは社会科で、2021年7月に鹿児島県にある奄美大島が世界自然遺産に登録されたことを社会科で学習しました。奄美大島のことを調べると、世界にほこる豊かな自然が残されており、絶滅の危険から保護されているウミガメも見られることがわかりました。たかこさんは、奄美大島のアカウミガメとアオウミガメの産卵回数についてのデータを見つけました。



- 2012年、2014年、2016年と2018年の間のアカウミガメの産卵回数の平均を求めましょう。
- 2020年、2022年と2024年のアオウミガメの産卵回数の平均は271回でした。2024年のアオウミガメの産卵回数を求めましょう。
- アオウミガメとアカウミガメの産卵回数は増えていますか、減っていますか。
- 奄美大島ではウミガメの保護活動がされています。ウミガメの保護活動について、よりふさわしいのはどちらだと思いますか。

- 保護活動をすれば、ウミガメの産卵回数はすぐに増加する
- 保護活動をしなくても、ウミガメの産卵回数の増加には長い時間がかかったり、また成果に現れないこともある。

豆知識

ウミガメは、砂浜に卵を産みますが、子ガメが生まれてから海に入るまでに、人やカニ、キツネ、鳥などにおそわれることがあります。運よく海にたどり着けても、魚に食べられたり、海がよごれていたりして、大人になれるのは1000~5000匹の子ガメのうちたった1匹だけです。





ほりさげて

かんがえてみよう

B 豊かな自然と動植物の種

世界には230をこえる世界自然遺産が登録されています。下のデータは世界自然遺産の数が多い国を表しています。データ 世界自然遺産登録数 (2025年)

このデータから、世界自然遺産の数が一番多いのは (1 イギリス・中国) で、日本の (2 2・3) 倍あることがわかります。またイタリアの世界自然遺産の数はアメリカの (3 0.5・2) 倍あります。

日本で世界自然遺産に登録されている (4 伊豆・小笠原) 諸島、奄美大島や屋久島は、大陸と分断されているため、独自に (5 進化・退化) した動植物が多く、生物の宝庫になっています。

日本には、まだ知られていない生物もふくめると、30万種以上の動植物がいるといわれています。しかし、人によって殺されたり、森林などがこわされたりして (6 生活の場・

地下水) を失い、絶滅してしまった動植物もいます。今までに、ニホンオオカミやニホンカワウソなど約50種の動物と約60種の植物が絶滅してしまいました。そして現在、絶滅の危険性が高いといわれている動植物は国内に約3700種以上もあります。

日本の豊かな (7 自然・産業) を守っていくことは、動植物の種の数を守っていくことにもつながります。

順位	国名	世界自然遺産数
1	中国	15
2	アメリカ	12
2	オーストラリア	12
4	ロシア	11
4	カナダ	11
6	ブラジル	9
7	インド	7
7	フランス	7
9	メキシコ	6
9	イタリア	6
11	日本	5
11	アルゼンチン	5
11	イギリス	5



ニホンカワウソ ニホンオオカミ



ラッコは個体数が減り、絶滅の危険性がとても高いです。理由はなんだと思いますか。

こ

1. 340回 (605+ 474 + 143 + 138) ÷ 4 = 340

2. 206回 (333+ 274 + □) ÷ 3 = 271
271 × 3 - (333 + 274) = 206

た

3. アカウミガメの産卵回数は減り続けている。アオウミガメの産卵回数は増えたり減ったり変動しているが、2020年以降減り続けている

え

4. B



かんがえてみよう

1 中国 2 - 3 3 - 0.5 4 小笠原 5 進化 6 生活の場 7 自然